

2020年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年3月30日

上場会社名 株式会社大光

上場取引所 東

コード番号 3160 URL <http://www.oomitsu.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金森 武

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介 TEL 0584-89-7777

四半期報告書提出予定日 2020年4月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第3四半期の連結業績(2019年6月1日～2020年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第3四半期	48,127	3.9	387	9.9	430	9.5	250	16.3
2019年5月期第3四半期	46,333	3.2	430	26.9	475	21.8	299	22.9

(注) 包括利益 2020年5月期第3四半期 217百万円 (22.1%) 2019年5月期第3四半期 279百万円 (15.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第3四半期	18.91	
2019年5月期第3四半期	22.59	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期第3四半期	18,793	4,805	25.6	362.64
2019年5月期	18,793	4,700	25.0	354.71

(参考) 自己資本 2020年5月期第3四半期 4,805百万円 2019年5月期 4,700百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期		4.00		4.00	8.00
2020年5月期		4.50			
2020年5月期(予想)				4.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	0.1	400	38.4	450	36.2	260	37.5	19.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2020年3月30日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年5月期3Q	13,450,800 株	2019年5月期	13,450,800 株
期末自己株式数	2020年5月期3Q	200,012 株	2019年5月期	200,012 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年5月期3Q	13,250,788 株	2019年5月期3Q	13,250,789 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境が改善するなど、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費は十分な回復までには至らず、米中間の通商問題による影響や、新型コロナウイルス感染症による内外経済への影響が懸念されるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、依然として消費者の節約志向・低価格志向は根強く、さらに人手不足による人件費や物流費の上昇などにより、厳しい経営環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループでは業務用食品等の卸売事業である「外商事業」において、新規開拓の強化に加え、既存得意先との取引拡大や前連結会計年度に獲得した新規得意先が寄与し、売上が伸びました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」において、新規店舗を開業するとともに、品揃えの充実化や営業活動の強化など、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行っております。

さらに、水産品の卸売事業である「水産品事業」では、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、既存得意先との深耕を図るとともに、新規得意先の開拓など販路の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は481億27百万円（前年同期比3.9%増）となりましたが、物流費等の経費増加の影響から営業利益は3億87百万円（前年同期比9.9%減）、経常利益は4億30百万円（前年同期比9.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億50百万円（前年同期比16.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(外商事業)

当事業におきましては、商品提案会を実施するなど、既存得意先との深耕を図るとともに、大手外食チェーンやホテル、レストランなど多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。また、提案型営業を強化するため商品知識の向上に取り組むほか、業務の効率化による人件費の削減や物流費をはじめとした経費の抑制に取り組み、収益性の向上を図ってまいりました。

この結果、外商事業の売上高は315億72百万円（前年同期比3.1%増）となりましたが、物流費等の経費増加の影響から営業損失は1億60百万円（前年同期は営業利益1億15百万円）となりました。

(アマカ事業)

当事業におきましては、それぞれの店舗において、品揃えの充実やメーカーフェア等の販売施策の展開、近隣飲食店等への営業活動の強化などに注力したことに加え、前連結会計年度に開設した新規店舗やネットショップが寄与し売上が伸びました。

この結果、アマカ事業の売上高は151億84百万円（前年同期比6.4%増）となり、営業利益は12億37百万円（前年同期比22.9%増）となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として46店舗であります。

(水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、大手水産会社をはじめとする既存得意先との深耕を図るとともに、海外を含めた新規得意先の開拓など、国内外への販路拡大に努めてまいりました。また、採算管理の徹底や経費抑制に取り組み収益改善に努めるとともに、外商事業及びアマカ事業と連携し当社グループの水産品ラインナップ強化を推進してまいりました。

この結果、水産品事業の売上高は14億75百万円（前年同期比2.9%減）となり、営業利益は31百万円（前年同期比13.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して現金及び預金が1億56百万円増加したこと等により、流動資産は全体で79百万円増加しました。一方固定資産は、投資有価証券が1億72百万円増加したものの、建物及び構築物が1億24百万円減少したこと等により、全体で79百万円減少しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末とほぼ同額の187億93百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して支払手形及び買掛金が5億74百万円、賞与引当金が1億2百万円減少したこと等により、流動負債が全体で8億46百万円減少しました。一方固定負債は、長期借入金が6億8百万円増加したこと等により、全体で7億41百万円増加しました。その結果、負債総額は、前連結会計年度末と比較して1億5百万円減少し、139億88百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が1億37百万円増加したこと等により、1億5百万円増加し、48億5百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月期の連結業績予想につきましては、2019年12月19日に公表しました業績予想を修正しております。詳細は本日別途公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	379,833	536,789
受取手形及び売掛金	5,393,078	5,158,697
商品	4,292,044	4,085,380
貯蔵品	30,399	40,556
その他	877,638	1,229,612
貸倒引当金	△3,984	△3,008
流動資産合計	10,969,010	11,048,029
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,383,709	3,259,218
その他(純額)	1,416,687	1,304,553
有形固定資産合計	4,800,397	4,563,771
無形固定資産		
無形固定資産	39,507	43,700
投資その他の資産		
投資有価証券	1,106,959	1,279,513
その他	2,349,783	2,331,157
貸倒引当金	△471,824	△472,333
投資その他の資産合計	2,984,919	3,138,337
固定資産合計	7,824,824	7,745,809
資産合計	18,793,834	18,793,838

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,298,781	5,723,927
短期借入金	2,527,000	2,437,000
1年内返済予定の長期借入金	1,081,640	1,066,474
未払法人税等	107,948	32,334
賞与引当金	209,407	106,909
ポイント引当金	21,781	19,428
その他	1,045,754	1,059,247
流動負債合計	11,292,312	10,445,321
固定負債		
長期借入金	1,299,149	1,907,599
役員退職慰労引当金	237,907	255,601
退職給付に係る負債	375,480	394,547
資産除去債務	449,219	453,870
その他	439,629	531,664
固定負債合計	2,801,385	3,543,282
負債合計	14,093,698	13,988,604
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,076,372	1,076,372
資本剰余金	980,171	980,171
利益剰余金	2,724,024	2,861,906
自己株式	△33,904	△33,904
株主資本合計	4,746,663	4,884,545
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△45,652	△79,887
繰延ヘッジ損益	827	318
退職給付に係る調整累計額	△1,702	257
その他の包括利益累計額合計	△46,527	△79,312
純資産合計	4,700,136	4,805,233
負債純資産合計	18,793,834	18,793,838

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
売上高	46,333,899	48,127,830
売上原価	37,706,352	39,155,601
売上総利益	8,627,546	8,972,229
販売費及び一般管理費	8,197,227	8,584,402
営業利益	430,319	387,827
営業外収益		
受取利息	9,333	10,943
受取配当金	3,307	3,853
受取賃貸料	68,384	68,725
受取手数料	16,748	16,907
その他	35,761	26,899
営業外収益合計	133,534	127,328
営業外費用		
支払利息	18,922	18,135
賃貸費用	54,159	53,819
固定資産除売却損	10,341	970
その他	4,856	12,011
営業外費用合計	88,280	84,938
経常利益	475,573	430,218
特別利益		
投資有価証券売却益	5,769	—
特別利益合計	5,769	—
特別損失		
減損損失	—	10,544
投資有価証券評価損	1,056	4,939
特別損失合計	1,056	15,483
税金等調整前四半期純利益	480,285	414,734
法人税、住民税及び事業税	131,730	131,821
法人税等調整額	49,176	32,398
法人税等合計	180,907	164,220
四半期純利益	299,378	250,513
親会社株主に帰属する四半期純利益	299,378	250,513

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益	299,378	250,513
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,115	△34,235
繰延ヘッジ損益	550	△509
退職給付に係る調整額	1,565	1,959
その他の包括利益合計	△19,999	△32,784
四半期包括利益	279,379	217,729
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	279,379	217,729
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年6月1日 至2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	30,620,853	14,254,388	1,447,420	46,322,661	11,237	—	46,333,899
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,242	15,816	72,167	89,225	—	△89,225	—
計	30,622,095	14,270,204	1,519,587	46,411,887	11,237	△89,225	46,333,899
セグメント利益	115,953	1,006,307	27,472	1,149,733	1,594	△721,009	430,319

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額△721,009千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年6月1日 至2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	31,567,067	15,171,394	1,378,331	48,116,793	11,037	—	48,127,830
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,394	13,328	97,026	115,750	—	△115,750	—
計	31,572,462	15,184,723	1,475,358	48,232,543	11,037	△115,750	48,127,830
セグメント利益又は損失(△)	△160,716	1,237,189	31,120	1,107,594	2,563	△722,331	387,827

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△722,331千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

外商事業セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において10,544千円であります。